

農業高校 大仙などで東北大会

東北6県の農業関係学科で学ぶ高校生が学習成果を披露する第75回日本学校農業クラブ東北連盟大会が8月27、28



湯の花に農薬としての利用
価値を見いだした取り組み
を紹介する大曲農の生徒Ⅱ
大仙市の大曲中央公民館

の西口、大仙市の大曲中央公民館などで開かれた。29校の280人が参加。全国大会への出場権をかけて日頃の研究をアピールした。本県での開催は2019年以来となった。

日本学校農業クラブ東北連盟などの主催。本県からは秋

土保全・環境創造に参加し、最優秀賞を受賞した大曲農のグループは、玉川温泉（仙北市）の湯の花に農業としての利用価値を見いだした取り組みを紹介。湯の花が酸性であるという特性に着目し、サステナブルで低コストな種子消毒法を確立したことをPRし

田北風、能代科学技術、金足農、大曲農、増田が参加した。生徒たちはプロジェクト発表、意見発表、クラブ活動紹介発表、農業情報処理競技、平坂測量競技の5部門で競った。	市、農
--	-----

農業情報処理競技は横手市、平板測量競技は秋田市で行った。大曲農を含め各部門で最優秀賞に選ばれた学校は、10月に岩手県で開かれる全国大会に出場する。

(針金友理子)

最優秀賞は次の通り。

▽プロジェクトⅠ類Ⅱ宮城農(宮城県)▽同Ⅱ類Ⅱ大曲農▽同Ⅲ類Ⅱ宮城農▽同Ⅲ類Ⅱ表Ⅰ類Ⅱ宮城農▽同Ⅲ類Ⅱ意見発表Ⅰ類Ⅱ宮城農▽同Ⅲ類Ⅱ置賜農(山形県)▽クラブ活動紹介Ⅱ名久井農(青森県)▽農事情報処理Ⅱ名久井農▽平板測量Ⅱ盛岡農(岩手県)